

議事録

主題：令和3年度第5回大津町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会

日時：2022年3月30日(水) 14:00～15:00

場所：大津町役場2階 町民協働ルーム

出席者 (敬称略)	委員会	丸山 泰委員長、津留 武芳副委員長、 大村 吉幸委員、松島 嘉浩委員、劔持 智哲委員、西田 典正委員、 家入 立身委員、桑原 正浩委員、宮崎 悟一委員
	大津町役場	総務部 藤本部長 総合政策課 木村課長、審議員 濱洲、係長 田上
	NTT データ経営研究所	金融政策コンサルティングユニット 大野、木全
	同席者	熊本銀行 上田 哲也
議事	1) 大津町人口ビジョンおよび総合戦略案の最終案について 2) 町民への周知について 3) その他	
配布資料	01_委員会次第 02_大津町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員名簿 03_大津町人口ビジョン(案)及び総合戦略(案)に関するパブリックコメントの意見と町の考え方 04_第4回大津町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 意見一覧 05_大津町人口ビジョン(案) 06_第2期大津町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案) 07_第1期大津町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証まとめ 08_振興総合計画及び総合戦略策定にあたって 09_第2期大津町まち・ひと・しごと創生総合戦略概要版 10_第6次大津町振興総合計画後期基本計画概要版 11_第6次大津町振興総合計画後期基本計画概要版(子ども版)	

議事内容

1. 開会

2. 委員長挨拶

委員長より挨拶

- 来年度から本格的に運用が始まるということで、町民への周知も含めて議論したいと考える。

3. 議事

<議題①：パブリックコメントについて>

- 1名から寄せられた4つの意見に対する町の考え方を説明(事務局)

<議題②：第4回委員会意見一覧について>

- 委員の皆様から寄せられた 11 の意見に対する町の考え方を説明（事務局）
 - 総合戦略については皆様からの意見に対して修正がなされているということで、最終的なものになりたいと思うが何かご意見等あるか。（委員長）
 - 中学生が菊陽に流れているという事実がある。これは高校の校区の問題である。大津町は校区外となっているため合格率が低くなっている。これについての議論はなされたのか。（委員）
 - 毎年のまちづくりアンケートなどでも高校の校区についての意見はいただいている。今後、校区の見直しがある際には県に対して働きかけていく必要があると考えているが、今回の総合戦略ではこの問題については触れていない。（事務局）
 - 人口ビジョン及び総合戦略については本案をもって最終版とする。（委員長）

<議題③：町民への周知について>

- 今回、振興総合計画と総合戦略の 2 つを作成している。これの周知を図るために皆様のご意見を伺いたい。（事務局）
- 資料「振興総合計画及び総合戦略策定にあたって」及び各計画概要版を用いて説明（事務局）
 - 振興総合計画が全分野に渡っているのに対し、総合戦略は横串を通すような関係性となっている。（事務局）
 - 周知方法については「町民懇談会の実施」「地区担当職員による各地区への説明」「各団体の会議等での説明」「広報誌・ホームページへの掲載」「職員向け説明会」の 5 つを考えている。（事務局）
 - 今回は振興総合計画と総合戦略が同時に作成されている。その相関を示すには資料「振興総合計画及び総合戦略策定にあたって」でまとめられているので、これを町民に周知したら良いかと考える。（委員長）
 - 資料「振興総合計画及び総合戦略策定にあたって」の 9 ページの「支える」と「創る、高める」は上下逆の方がよい。本資料は良く出来ていると思うが、では具体的に町民としてどう動けばいいのか、という部分を今後示して頂きたい。（委員）
 - TSMC の進出により大津町の人口増加は見込まれているので、働く人の住む場所の確保が必要と考える。現時点では紹介できる土地が少ない。官民連携での誘致などを早急に対応頂きたい。また、肥後大津駅前を含め、中心市街地の整備も必要である。民間任せでは中々進まないのので、町として推進を図って頂きたい。（委員）
 - TSMC の進出による影響については県と協働して各種調査、情報収集を行っているところである。その上で行政ができる事と民間ができる事を勘案し、連携して計画を立てていきたいと考えている。また、大津駅前の整備については本腰を入れて検討していきたいと考えている。（事務局）
 - TSMC 対応は喫緊の課題である。TSMC についてはすでにプロジェクトが出来ているということで、その動きに期待している。また、資料 4 ページの人口目標については量的なものだけを記載するのではなく、生産年齢人口、出生率、転入者といった質的な内容も盛り込んで頂きたい。（委員長）
 - 本戦略を推し進めていくにあたり、町民、職員への周知は必須と考える。今後は個別具体的に推進して頂きたい。（委員）
 - 本資料についてはまず職員に周知し、次いで町民へ、というステップとなる事と思う。（委員長）

- 企業の立場から言えば、観光客が大津町ではなく熊本市内に行って飲食などを行っている状況を懸念している。大津町は住みやすく、治安も良いが、外からの流入者が町内で活動していない。コロナの影響はあるものの、外からの流入者が町内に留まり、町内で行動するような「楽しませる」施策を期待している。（委員）
- 資料 9 ページについて詳細を説明頂きたい。（委員）
- 「支える」という部分については「現状」に注視したものである。「創る、高める」という部分はこれから先の「将来」に注視したものである。（事務局）
- 「支える」は現状のセーフティな部分であり、「創る、高める」はこれからのチャレンジとなると考えている。（委員長）
- 総合戦略に記載のない分野については振興総合計画で詳細に記載させて頂いている。総合戦略と振興総合計画で構造的に分化しているをご理解いただきたい。（NTT データ 経営研）
- 本案は全体的、包括的なプランであり、具体的な進め方はこれからということか。（委員）
- 詳細な実施計画は今後各部門において個別の計画を策定し、事業を実施していく予定である。（事務局）
- 「第 6 次大津町振興総合計画後期基本計画概要版」の最終ページにある通り、大きな PDCA サイクルの「P」が出来たという段階であり、今後各分野で個別計画を策定していくという事でよいか。（委員長）
- 総合計画・総合戦略＞各部計画＞各課計画＞個人計画といった具合に落とし込むものである。（事務局）
- 今後、実行計画の推進具合を本推進委員会で示して頂き、我々委員がチェックするという流れになると考える。（委員長）

＜議題④：その他議事＞

- その他ご意見あれば伺いたい。（委員長）
 - 今後の人口増を勘案すると町内にオフィスが少ないので、需要に対して答えていく必要があると考える。民間では対応しきれない部分があるので、行政としての対応をお願いしたい。また、熊本市内まで行かなくても学力が高められるように、民間による学校誘致などの検討をお願いしたい。（委員）

4. 閉会

- 人口ビジョン及び総合戦略については本委員会で確定ということで 4 月に印刷し、皆様に配布する。また、来年度については、総合戦略の進捗状況等を報告していく予定である。引き続き委員の皆様へ委員会へのご出席、ご協力をお願いしたい。（事務局）
- 計画を作るのが目的ではなく、どう実行していくかが肝要である。特に喫緊の TSMC への対応についてはプロジェクトチームを組成して対応しているところである。官と民の意見の摺り合わせの場として本委員会があると考えているので、引き続きよろしくをお願いしたい。（事務局）

以上